

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

平成 23年 7月 10日

大分県知事 広瀬勝貞 殿

報告者

住 所 大分県中津市大字犬丸 370番地

氏 名 株式会社 キヌガワ大分

取締役社長 堀 正 彦

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0979-32-6531

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第8項の規定に基づき、平成22年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社 キヌガワ大分	
事業場の所在地	大分県中津市大字犬丸 370番地	
事業の種類	ゴム製品製造業 工業用ゴム製品製造 [2033]	
産業廃棄物発生量の目標	(種類) 別添 (発生量)	
計画の実施状況	①産業廃棄物発生量	(種類) " (発生量)
	②自己直接再生利用量	"
	③自己直接埋立処分 又は海洋投入量	"
	④自己中間処理量	"
	⑤自己中間処理残さ量	"



⑥自己中間処理後 再生利用量	別添
⑦自己中間処理後自己 埋立処分又は海洋投入量	〃
⑧直接委託及び自己処理 後委託処分量	〃
※事務処理欄	

備考

- 1 この報告書は、6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物発生量の目標」の欄には、前年度の産業廃棄物処理計画に記載した産業廃棄物発生量に関する目標を記入すること。
- 4 「計画の実施状況」の欄には、前年度の産業廃棄物に関して①～⑧の欄のそれぞれに、(1)から(8)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の種類及び種類ごとの発生量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、直接自ら最終処分場に埋立処分した量及び海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理した量
  - (5) ⑤欄 自ら中間処理を行った後の産業廃棄物の量
  - (6) ⑥欄 (5)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (7) ⑦欄 (5)の量のうち、自ら最終処分場に埋立処分した量及び海洋投入処分した量
  - (8) ⑧欄 (1)の量のうち他人に委託して処理した量に、(5)の量のうち他人に委託して処理した量を加えた量
- 5 ※欄には、何も記入しないこと。

別添

		発生量の目標	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		
			産業廃棄物発生量	自己直接再生利用量	自己直接埋立処分又は海洋投棄量	自己中間処理量	自己中間処理残渣量	自己中間処理後再生利用量	自己中間処理後直接埋立処分又は海洋投棄量	委託処分量		
			再生	中間処理(再生以外)	最終処分							
廃プラスチック 合成ゴム	合成ゴム	499	645	0	0	0	0	0	0	0	645	0
	リット材	10	10	0	0	0	0	0	0	10	0	0
	FMR端末	10	27	0	0	0	0	0	0	0	27	0
廃液	硬化廃液	20	13	0	0	0	0	0	0	0	13	0
	廃溶剤+廃油	21	23	0	0	0	0	0	0	0	23	0
廃プラスチック 合成ゴム 以外	廃フィルター	5	5	0	0	0	0	0	0	0	5	0
	炭灰	7	11	0	0	0	0	0	0	0	11	0
	樹脂パレ・他	5	9	0	0	0	0	0	0	5	0	4
金属クズ	芯材・廃缶	10	15	0	0	0	0	0	0	15	0	0
	金属クズ	11	32	0	0	0	0	0	0	32	0	0
紙くず		8	14	0	0	0	0	0	0	14	0	0
木屑(木パレ+木)		11	43	0	0	0	0	0	0	0	43	0
ガラス屑		1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
燃えるゴミ		12	32	0	0	0	0	0	0	0	32	0
合計		630	880	0	0	0	0	0	0	76	799	5